

議会だより



運動会

平成 26 年 9 月 21 日（日）、みどり市内最大の行政区（笠懸町第 9 区、人口約 5,100 人）が区民運動会を秋晴れのもと、笠懸小学校校庭で開催した。老若男女約 500 人が参加し、ユニークなプログラムと大歓声で賑わった。東西対抗で行われたが、僅差で西が勝利し優勝旗を手にした。

平成 26 年 第3回定例会（9月）

〈主な内容〉

本会議	2～3
決算特別委員会	4～5
常任委員会報告	6～7
一般質問	8～18
まちの声	20

平成25年度決算が

認定されました

第3回定例会は、9月2日から9月26日までの25日間の日程で開かれました。市長からは、平成25年度決算の認定をはじめ、条例改正、平成26年度補正予算など40議案が上程され、慎重審議の結果、原案のとおり可決しました。また、一般質問には、17名の議員が登壇し、活発な議論が行われました。決算については、特別委員会を設置し、3日間にわたりさまざまな質疑が展開され、さらなる効果的かつ効果的な財政運営のための検証が行われました。また、最終日には齊藤潤議員が同日付けで辞職することを全会一致で許可しました。

ピックアップ

■平成25年度決算

平成25年度一般会計の歳入決算額は187億4642万円、歳出決算額は175億102万円、歳入歳出差引額は12億4540万円となりました。この差引額から、平成25年度繰越明許費および事故繰越しとして繰り越すべき財源の、3億3

■平成26年度

一般会計補正予算

予防接種事業

水ぼうそう・高齢者肺炎ワクチン予防接種

2520万4千円

公営保育園施設管理事業

笠懸第一保育園施設改

修事業 206万8千円

文化財保護事業

文化財保護や史跡西鹿

田中島遺跡保存整備

187万9千円

体育施設管理事業

ながめ南多目的運動公

園の整備工事など

2942万8千円

東地域林道・作業道事業

道路附帯施設清掃など

300万円

市長提出議案

可決、承認、認定された議案は次のとおり

- ◆平成25年度一般会計決算
- ◆同 太陽光発電事業特別会計決算
- ◆同 鉄道経営対策事業特別会計決算
- ◆同 国民健康保険（事業勘定）特別会計決算
- ◆同 国民健康保険（診療所勘定）特別会計決算
- ◆同 後期高齢者医療特別会計決算
- ◆同 介護保険（保険事業勘定）特別会計決算
- ◆同 介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計決算
- ◆同 戸別浄化槽事業特別会計決算
- ◆同 簡易水道事業特別会計決算
- ◆同 農業集落排水事業特別会計決算
- ◆同 企業用地整備事業特別会計決算
- ◆同 下水道事業特別会計決算
- ◆同 富弘美術館事業特別会計決算
- ◆同 競艇事業特別会計決算
- ◆同 水道事業会計決算
- ◆同 税条例等の一部改正
- ◆特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例
- ◆家庭的保育事業等の設備及び運営に関する条例
- ◆放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する条例
- ◆市営住宅設置条例の一部改正
- ◆市有住宅条例の一部改正
- ◆財産の取得（消防団第2分団の水槽付消防ポンプ自動車）
- ◆市道の路線廃止
- ◆市道の路線認定
- ◆平成26年度一般会計補正予算（第3号）
- ◆同 太陽光発電事業特別会計補正予算（第1号）
- ◆同 国民健康保険（事業勘定）特別会計補正予算（第2号）
- ◆同 国民健康保険（診療所勘定）特別会計補正予算（第2号）
- ◆同 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

- ◆「全国一斉学力テスト」
学校別結果公表反対を求
める請願

◆「最低賃金の改善と中小
企業支援策の拡充を求め
る意見書」提出について
の請願

↓不採択
- ◆同 介護保険（保険事業
勘定）特別会計補正予算
（第2号）
- ◆同 介護保険（介護サー
ビス事業勘定）特別会計
補正予算（第1号）
- ◆同 戸別浄化槽事業特別
会計補正予算（第1号）
- ◆同 簡易水道事業特別会
計補正予算（第2号）
- ◆同 農業集落排水事業特
別会計補正予算（第1号）
- ◆同 企業用地整備事業特
別会計補正予算（第1号）
- ◆同 下水道事業特別会計
補正予算（第2号）
- ◆同 富弘美術館事業特別
会計補正予算（第2号）
- ◆同 競艇事業特別会計補
正予算（第3号）
- ◆同 水道事業会計補正予
算（第2号）
- 請願審査

平成 26 年度各会計の補正予算状況(9 月)

一 般 会 計		補 正 額	3 億 8,604 万 2 千円
		補正後の予算額	206 億 6,787 万 5 千円
特別会計	太 陽 光 発 電 事 業	補 正 額	156 万 4 千円
		補正後の予算額	2 億 0,634 万 1 千円
	鉄 道 経 営 対 策 事 業	補 正 額	0 円
		補正後の予算額	4,128 万 8 千円
	国 民 健 康 保 険 （ 事 業 勘 定 ）	補 正 額	4,027 万 7 千円
		補正後の予算額	60 億 1,339 万 0 千円
	国 民 健 康 保 険 （ 診 療 所 勘 定 ）	補 正 額	818 万 0 千円
		補正後の予算額	1 億 7,286 万 5 千円
	後 期 高 齢 者 医 療	補 正 額	50 万 0 千円
		補正後の予算額	4 億 6,401 万 1 千円
	介 護 保 険 （ 保 険 事 業 勘 定 ）	補 正 額	3,119 万 7 千円
		補正後の予算額	38 億 7,361 万 4 千円
	介 護 保 険 （ 介 護 サービス事業勘定 ）	補 正 額	78 万 5 千円
		補正後の予算額	1,657 万 0 千円
	戸 別 浄 化 槽 事 業	補 正 額	86 万 5 千円
		補正後の予算額	293 万 5 千円
	簡 易 水 道 事 業	補 正 額	3 千円
		補正後の予算額	8,328 万 1 千円
	農 業 集 落 排 水 事 業	補 正 額	248 万 0 千円
		補正後の予算額	6,110 万 5 千円
	企 業 用 地 整 備 事 業	補 正 額	0 円
		補正後の予算額	4,902 万 3 千円
	下 水 道 事 業	補 正 額	245 万 2 千円
		補正後の予算額	9 億 4,500 万 5 千円
	富 弘 美 術 館 事 業	補 正 額	0 円
		補正後の予算額	3 億 1,801 万 3 千円
	競 艇 事 業	補 正 額	1,834 万 4 千円
		補正後の予算額	983 億 4,956 万 0 千円
水 道 事 業 会 計		補 正 額	1,000 万 0 千円
		補正後の予算額	19 億 5,799 万 9 千円

監査の意見要旨

平成25年度一般会計の歳入決算額は、前年度より3・5%増額となった。主な要因は、自主財源においては繰越金、依存財源においては国庫支出金の増額などである。市税においては、前年度より市民税・軽自動車税・たばこ税は増額となった。一方で、固定資産税が減額となった。

歳出は、一般会計・特別会計を合わせた予算執行率は94・5%で、前年度より0・8ポイント増加し、より効率的な予算執行が行われたことがうかがえる。年度終盤の大雪被害に関連し、被災者支援を含む多くの事業が、翌年度へ繰り越されたため一般会計の歳出予算執行率は、前年度対比で3・7ポイント低下している。

当初計画していた工事実施などが、年度終盤に多く重なっていたことも大雪の影響で、翌年度繰越事業が増えた原因の一つであると考えられる。よって、年度末に集中しないよう年間を進めたい。

とおした計画的な事業実施に一層努められた。今後も、無駄を排除し社会基盤の整備や子育て・高齢者・障がい者支援の充実など、市民福祉の事業を堅実に執行するための努力を続け、市民ニーズなどの変化や時代の要請に的確に対応した質の高い財政運営を推進されたい。

決算特別委員会

決算特別委員会に付託された議案は、平成25年度みどり市一般会計歳入歳出決算の認定から平成25年度みどり市水道事業会計決算の認定までの16件である。

9月10日に議長を除く19名で構成し、委員長に杉山英行委員、副委員長に高草木良江委員を選任した。

9月12日、16日、17日の3日間にわたり、議場において市長をはじめ執行部の出席を求め審査を行った。

決算審査にあたっては、執行部から提出された決算書。その他の関係資料をもとに担当部長、担当課長により詳細説明を受け、各議案に対し慎重に審査を行った。

16日の12時28分頃に発生した震度5弱の地震による被害調査のため延会となった。

全議案の審査終了後、議案ごとに採決の結果、全議

案を原案のとおり認定すべきものと決定した。

審査の過程において、各委員から慎重なる指摘、および意見、要望が述べられた。

今後、行政執行のうえで、指摘や意見・要望のあった件については十分留意され、改善が図られるよう強く要望する。

主な質疑

問 不能欠損処理の要因、保護者負担金の収入未済額が減少した要因、生活保護費返還金の内容と要因は。

納税課長 固定資産税では、会社の倒産、休業などで破産手続終了が主で、大口の3社で約1100万円になる。

保健福祉部長 保育料の保護者負担金の未納額減少の要因は、家庭訪問、国からの通知を保護者に渡したり、児童手当の支給時に納付を

行ったため。

生活保護費返還金は、相続で1件収入があった。年金受給者で22件、就労未申告などである。生活に支障のない範囲で分割納付が38名である。

問 がん検診事業全般の再検査、早期発見者数は。

健康管理課長 平成25年度の集計が出ていないため、発見者数はすべて平成24年度数である。胃がんは、2280人受検、要精検者191人、3人発見。大腸がんは、3538人受検、要精検者211人、5人発見。前立腺がんは、147

2人受検、要精検者115人、7人発見。子宮頸がんは、1387人受検、要精検者8人、1人発見。乳がんは、1192人受検、要精検者136人、4人発見。肺がんは、4830人受検、要精検者42人、3人発見の状況である。



杉山英行 委員長

問 水道事業の建設改良費、現金預金のあり方は。

水道総務課長 平成24年度で奈良俣ダム償還は終わり、16億4478万円の残高である。流動負債が2億5000万円残っているが、他に、8268万9000円の繰越額が他事業分があり、これらを差し引くと約13億円の預金の残高となる。

都市建設部長 事業費に使う予定で、8億円を超過工事計画がある。広域水道事業の統合時には、平成28年度から10年間で44億円の施設更新と工事を予定している。

会議録を公開しています



市議会の会議録を公開しています。

市のホームページにも掲載していますのでぜひご覧ください。

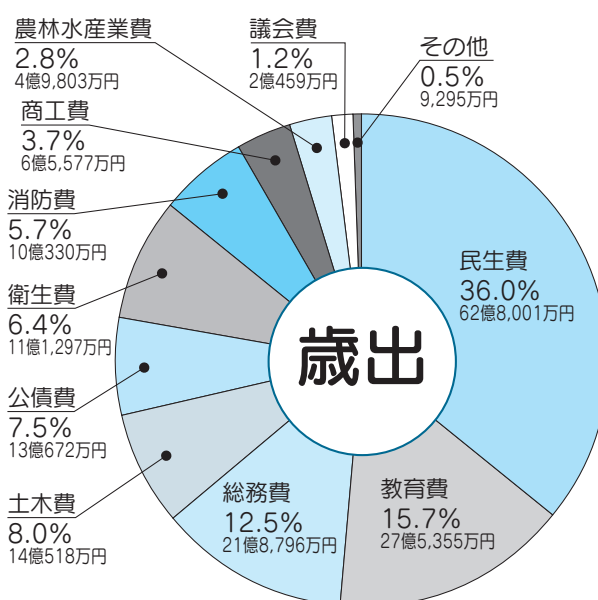
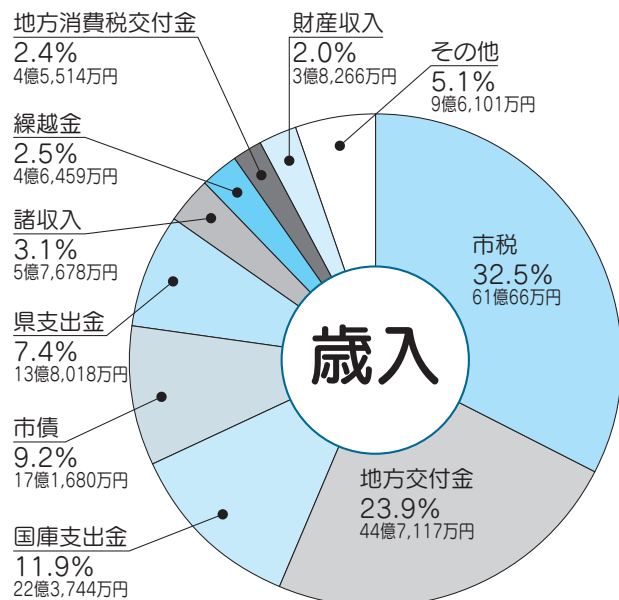
ホームページアドレス

<http://www.city.midori.gunma.jp/gikai>

※要精検者…より正確な検査が必要な人

平成 25 年度 決算概要

一般会計	入ってきたお金	使ったお金
合 計（内訳は下のグラフの通り）	187 億 4,643 万円	175 億 103 万円



特別会計	入ってきたお金	使ったお金
太陽光発電事業特別会計	2 億 0,185 万円	1 億 9,642 万円
鉄道経営対策事業特別会計	4,077 万円	4,077 万円
国民健康保険（事業勘定）特別会計	61 億 8,095 万円	60 億 5,871 万円
国民健康保険（診療所勘定）特別会計	2 億 0,630 万円	1 億 8,241 万円
後期高齢者医療特別会計	4 億 4,693 万円	4 億 4,454 万円
介護保険（保険事業勘定）特別会計	37 億 6,049 万円	37 億 0,058 万円
介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計	1,704 万円	1,616 万円
戸別浄化槽事業特別会計	343 万円	215 万円
簡易水道事業特別会計	7,237 万円	6,619 万円
農業集落排水事業特別会計	6,084 万円	5,846 万円
企業用地整備事業特別会計	3,695 万円	81 万円
下水道事業特別会計	9 億 6,926 万円	8 億 6,142 万円
富弘美術館事業特別会計	3 億 1,670 万円	3 億 0,988 万円
競艇事業特別会計	855 億 6,367 万円	851 億 8,533 万円

事業会計	入ってきたお金	使ったお金
水道事業（収益的収入および支出）	10 億 0,926 万円	9 億 1,723 万円
（資本的収入および支出）	2,251 万円	3 億 4,696 万円

総務文教常任委員会

本委員会は、執行部出席のもと9月22日に開催した。

付託された議案

●「財産の取得」について

笠懸町第2分団に水槽付きポンプ自動車、水1・B型を購入するもの。現在仮契約済。契約金額2313万8510円。

質疑、討論もなく、採決の結果、挙手全員で本案は、原案のとおり可決すべきものと決定。



付託された請願

●「全国一斉学力テスト」

学校別結果公表反対を求める請願について

平成26年6月議会からの継続審査。

質疑、討論もなく採決の結果、挙手なしにより請願第18号は不採決すべきものと決定。



市民福祉常任委員会

本委員会は、執行部出席のもと9月18日に開催した。

付託された議案

●市税条例の一部改正

軽自動車税関係では、

①原動機付き自転車、2輪の軽自動車及び2輪の小型自動車に係る税率を、平成27年4月1日より現行の1・5倍に引き上げるもの。

②平成27年4月1日以降に新規登録される軽自動車の税率を自家用乗用車は、現行の1・5倍、その他の車両については約1・25倍に引き上げるもの。

③グリーン化を進める観点から、3輪以上の軽自動車に対して、車両番号の指定を受けた月から起算して14年を経過した年度以降の軽自動車税について、平成28年度以降標準税率のおおむね20%の重課税率を適用するもの。

固定資産税関係では、

①償却資産に係る課税標準の特例措置について、水質汚染防止法などに基づき適用期限を2年間延長するもの。

②自然冷媒を利用した業務用冷凍・冷蔵装置に係るものについて、平成26年4月1日から平成29年3月31日までに新規取得したもののについて、3年度分の特例措置を創設するもの。

質疑では、小型特殊自動車についての質疑があり、フォークリフトや建設作業用重機などが該当すると説明あり。

討論もなく、挙手全員で本案は、原案のとおり可決すべきものと決定。

●特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例

平成27年度から開始予定の子ども・子育て支援制度において施設型給付費、地域型保育給付費を受けるに

は、市町村の確認を受ける必要がある。そのための運営基準を条例に定めるもの。

質疑、討論もなく、挙手全員で本案は、原案のとおり可決すべきものと決定。

●家庭的保育事業等の設備及び運営に関する条例

子ども・子育て支援制度においては、家庭的保育事業等は国、都道府県、市町村以外のものが行う場合には、市町村の認可を受ける必要がある、その認可基準を定めるもの。

質疑では、保育士の資格が必要か、市町村の研修体制はなどの質問があり、市町村がおこなう研修を修了以上の知識及び経験を有する者との説明あり。

討論もなく、挙手全員で本案は、原案のとおり可決



すべきものと決定。

●放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する条例

放課後児童健全育成事業の質を確保する観点から、事業の設備及び運営について国が定める基準を踏まえて条例で基準を定めるもの。質疑では、同事業の対象について、これまでの小学校1年生から4年生までが、小学6年生までになると説

明あり。

討論もなく、挙手による採決の結果、挙手全員で本案は、原案のとおり可決すべきものと決定。



経済建設常任委員会

本委員会は、執行部出席のもと9月19日に開催した。

付託された議案

●市営住宅設置条例の一部改正

老朽住宅の取り壊しに伴う戸数の変更に合わせて表示項目を見直し、構成内容を簡素化するもの。

質疑では、将来人口と市営住宅数の関係で定数基準があるか、また木造平屋住

宅が老朽化して入居している方も少なくなっていることから、分譲に対する政策や人口減少対策を考えていくべきなど。

討論もなく、採決の結果、挙手全員で本案は、原案のとおり可決すべきものと決定。

●市有住宅条例の一部改正

説明では、市営住宅と同様、耐用年数が経過し、老朽化による戸数の変更に合

わせて表示項目の見直しや構成内容の簡素化をするもの。こちらは補助対象外の市有住宅の改正で、用語の定義、設置や入居資格に係わる条項についても現在の制度に沿った形に整理をおこなう一部改正。

質疑、討論もなく、採決の結果、挙手全員で本案は、原案のとおり可決すべきものと決定。

●市道の路線廃止

市道大間々3319号線4434号線は、いずれも道の形態が現地になく、民地を認定していたことから今回廃止するもの。

質疑、討論もなく、採決の結果、挙手全員で本案は、原案のとおり可決すべきものと決定。

付託された請願

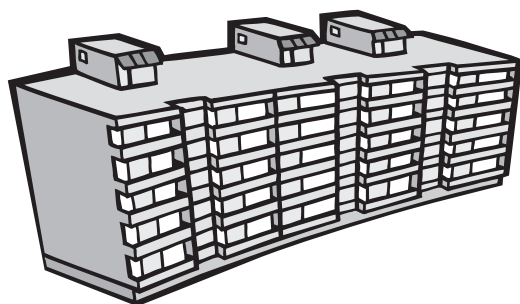
●「最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書」提出についての請願

本請願は、平成26年6月議会からの継続審査。

意見として、アジア諸国と文面にあるが具体的にどの国なのか、どのように取り組んでいるのか。生活保護と最低賃金が多量にリンクする内容になっている。中小企業の育成や融資、仕事起こしなどと賃金引き上げの関係性が明確で

なく、内容が色々と、広範かつ抽象的で請願の内容に沿っていない。最低賃金の改善と、中小企業支援策の拡充という2つのことを同時に出していただかない。前回の内容を整理して欲しいとお願いをしていたが、今回改善されていない。など意見がだされた。

討論もなく、採決の結果、挙手なしにより請願第21号は不採択すべきものと決定。



Q 古着・古布の活用について

A ゴミ減量にもなる

須藤 日米代 議員



土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域に伴い、新しいハザードマップを作成する予定はあるか。

総務部長 現在、その作業をしているところである。

問 東町などでは、避難場所が警戒区域に含まれてしまふところがあるが、その対応は。

総務部長 区長などと、現在協議をしている。指定を除くか、そのまま避難場所に指定するか、地域の方と検討中だ。

問 予算の確保、今後の展望は。

市長 後継者育成も考え、各部署で話している。予算面も県に要望し、前向きに検討中だ。

問 既存の防災マップはあるか。

総務部長 平成19年に作成して2万5000部配布した。

問 平成25年に指定された

総務部長 今までは考えて

いなかったが、今後検討したい。

市民部長 現在、古着回収を考えようとしている。

問 早い時期での開始を要望する。

副市長 とても良い施策であると思う。ゴミ減量にもなり、地球環境を守ることにつながる。



Q 使いやすいバスはどうあるべきか

A 使いやすい制度へと研究していきたい

常見 詔子 議員



現できた。前日予約なども希望されたが、今後の課題と認識している。

問 「電話でバス」、路線バス、福祉タクシー制度それぞれ

の事業の対象、運行に係る費用、市からの補助は。

総務部長 「電話でバス」と東町の路線バスは市民

と市外からの観光客などだれでも乗れる。経費は

わたらせ渓谷鐵道は、平成25年度実績で運行経費4億400万円のうち、市

は約4500万円を負担。上毛電気鐵道は、運行経費

7億1000万円のうち、市は約1100万円を負担。

「電話でバス」は市の直営で、経費は約4400万円。過疎地有償運送は、約580万円の経費。

問 福祉タクシー制度は。

保健福祉部長 合併前の笠懸町の制度を平成21年度に

市内全域で70歳以上の高齢者のみの世帯を対象にした。

平成23年度より65歳以上で、要介護、要支援の介護認定を受け自動車を所有してい

ない世帯、所得税非課税世帯となった。

問 平成19年11月にみどり市議会公共交通整備促進対策研究会が提出した提言書と、「電話でバス」や路線バス、過疎地有償運送などにおける比較検討は。

総務部長 相当な部分で実

※ CSP…コモンセンスペアレンティングの略。アメリカで開発された子どもへの援助技術。

問 福祉タクシー券を配布されなくなった世帯では、自己負担でタクシーかデマンドバスを利用しなければならなくなり、サービスの後退があった。交通弱者に対する施策、市内循環バス、観光客にも使いやすいバスはどうあるべきかなど研究してはどうか。

常見 初めて「ふれあいタクシー」を実施した埼玉県騎西町の担当課長は「やればできる。住民のために知恵をだすことだ」と言っていた。これから、運転免許証を返納する人にとっても安心して利用できるデマンドバス、路線バスとなつてほしいことを要望する。



Q 決定したA案を再審するのか

A 不十分なので再検討したい

大澤 映男 議員



問 4月18日市長へ笠懸小学校の分離新設に伴う学区の報告をしたが、決定し

たA案を再審することについて了解は得られているか。
教育長 今までの検討の中で不十分なところがあり再検討したいとお願いした。市長からは教育委員会の判断を尊重したいと了解を得た。

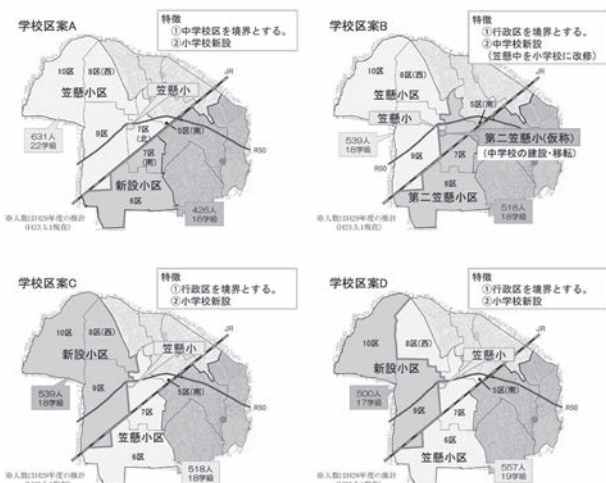
問 約4年にわたり検討し、決定したことをニュートラルにした。再検討するということは指導を受けた関係
教育長 群馬県東部農業事務所、群馬県教育委員会などに相談した経緯がある。円滑に進められるようにと助言を得た。平成24年5月以降、上部機関との相談は一切行っていない。全く白紙の状態だと認識している。
問 ニュートラルにするということは、A案決定を白

紙にすると理解して良いのか。

教育長 上部機関へ相談した内容については白紙の状態であつて、全てゼロに戻すことではない。地域の声を聞くことが不足していたという反省点もある。もう一度4案を均しく扱い、基本的な項目をしつかりとした形で検証し、最終的な報告をまとめ再評価するという形をとりたい。

問 平成24年4月に設定された基本的な考え方に加え、今回の4つの学区設定の考え方を加えた。しかしその中では街づくりについての

みが新規の検討課題と思うが。
教育部長 学校規模、通学の安全確保。分かりやすい学区と中学への進学はすでに入っているが、正式に地区などへ説明し客観的にAからD案を判断していく中で、新たな7つの観点に



Q 信頼していたと思うが

A 信頼回復に努めたい

荻野 忠 議員



果を出し、教育委員会の信頼回復に努めたい。

問 学校建設には多額な税金を必要とする。総合的 판단力で、しっかりと再検討をして欲しい。結論はいつごろまでに出すのか。

問 教育委員会は、笠懸小学校の分離新設で、市民説明会も含め長い年月をかけ、やっと新学区を6区と7区に決定した。この地区に小学校建設を決めたことになる。しかし、3か月余りの間に、この決定報告を取消し、再検討することにしたのはなぜか。教育委員会に対し市民は崇高な考え方で結論に至ったと信頼していたと思うが。

教育長 決定報告後、多くの異議や指摘があった。議論の足りない部分もあったと反省をしている。再検討し理解の得られるような結果を出し、教育委員会の信頼回復に努めたい。

に向け将来像を見据えて行きたい。

問 総合計画後期基本計画では、平成29年の人口を5万3000人と想定しているが、人口減少に向けた確かな政策計画が必要だ。みどり市の将来像をどのように描いているのか。

Q フィールドトライアルのモデル校になる考えは検討する価値は充分にある

今泉 健司 議員



問 通常、下校時に一人で帰宅している児童の人数は、約290人。

総務部長 軌道修正は必要と認識する。事務事業評価を生かし、現状や将来に見合った政策を検討したい。

問 街の衰退や大型店などの撤退の話があり、さびしい状況が続いている。市長は、企業情報の収集をどのようにしているのか。

市長 商工会や各団体からの意見には気を付けている。大型店などの撤退の話は、噂の域を出ず確認のしようがない状況だ。

問 一人で下校している児童の現状をどう考えるか。

教育長 地域の皆さんと協力しながら、みどり市は安全であるという環境を整えていくことが必要である。

問 小学校に携帯電話を持込禁止にしている理由は。

教育部長 文部科学省の通知により、市内校長会などで意見を聞き策定した「携帯電話の危険から子供たち

を守る指針」に基づき、原則、持込禁止としている。

問 GPS機能付きICタグを携帯させることに、教育委員会などで、今までに議論されたことはあるか。

教育部長 議論したことはない。

問 児童たちに、GPS機能付きICタグを携帯することを許可してはどうか。

教育長 時代の状況の変化





宮崎 武 議員

Q 見守り事業のICT推進は A 機器や接続方法を検討している

問 東部水道広域企業団に、水源しみどり市としてのアピール方法はあるか。

都市建設部長 水源地の自覚のもとに、広報や報道などを利用しアピールする。

問 アピールのためにおいしい水の販売など、考えはあるか。

問 熱交換塗料についての

都市建設部長 サーバーによるおいしい水の販売なども検討している。

問 水源地アピールをするためにシンボリックな工作物やテーマなど推進しては。

都市建設部長 検討していきたい。



推進状況を確認したい。

教育部長 平成26年7月に、笠懸幼稚園屋上に塗装した。順次、教育施設の屋上やプール周りなど塗装していく計画だ。

問 熱交換塗料は気温25度を境に暑ければ下げ、寒ければ上げる効果があると言われる。エアコン設置を契機にみどり市内の全教育施設に塗装してはどうか。

教育部長 太陽光パネルも電気量削減のために設置した。地球温暖化対策などに配慮し、順次塗装をしたい。

問 地球温暖化による気温の上昇が熱中症などを誘発している、市民の自覚と協力によって体調管理などもマニュアル化してはどうか。

保健福祉部長 今夏も熱中症と思われる救急搬送など多くの事例があった。広報やさまざまな媒体を通じて予防に努めていく中でマニュアル化も推進する。

問 独居高齢者、人口減少地域などに対するICTの推進の中で、見守り事業のICT化を早期に推進し安心感の向上に努めてはどうか。

保健福祉部長 日進月歩のICTの進展だが、防災や見守り事業にどういった機器を使用し、接続方法がいいのかも含め検討中だ。

問 母子手帳アプリについての認識はあるか。

保健福祉部長 スマートフォンやタブレット端末など利用する妊婦さんも多いようだ。アプリも数社確認している。

問 母子手帳は、親から子どもへの大事なツールだが、24時間行政と連動できる安心感は重要だ。ICT化も進めてほしい。

保健福祉部長 今回を機に更なる検討をしたい。

により、保護者のニーズは高まっていると感じる。安全性を高める見地から、現在ある体制に付け加える形として一考の余地がある。

問 GPS機能付きICTタグを用いたフィールドトライアルのモデル校になる考えはあるか。

市長 教育委員会などに判断は委ねるにしても、安全が担保されるのであれば検討する価値は充分にあると考える。

問 みどり市が、現在雇用している障がい者の人数と実雇用率は。

問 障がい者の就業需要に対する将来見込みは。

保健福祉部長 現在、就労希望者の把握はしていない。今後の課題として検討していきたい。

問 みどり市も積極的に障がい者を雇用し、先進地の事例を参考にし、障がい者雇用に大きな風穴を開ける



ような施策を考えてはどうか。

市長 みどり市の状況にあった、障がい者雇用を考えるべきである。施設や専門家からの意見を聞き学んでいきたい。

※フィールドトライアル…サービスを行うため、利用者の要望などを把握する実証実験

Q 「教育審議会」の設置については

A 今後考えていきたい

椎名 祐司 議員



だと思うが。

教育長 教育の抱える多くの問題を解決していくために、こうした組織についても、今後考えていきたい。

問 堀上遺跡[※]では、出土遺物として、縄文時代草創期前半（約1万2000年前）の石槍が出土している。堀上遺跡は記録による保存

問 平成27年度からの教育委員会制度の改正法により、首長はこれまで以上に長期的視点に立った教育行政のかじ取りが求められるようになると思われるが。

市長 大綱の策定や総合教育会議については、教育委員と忌憚^{きはん}なく話し合い、十分な協議、調整を図り、より一層民意を反映して進めていきたい。

問 教育の当事者としての民意を反映する仕組みとして、教育委員会の下部組織として「教育審議会」を設置し、広く地域住民の意向を反映した教育行政が大事

教育部長 桐生みどり消防署の敷地となっているので、関係部署と協議して説明板などを設置し、その重要性を周知していきたい。

問 整備された「かどや公園」に木製のベンチなどを設置してはどうか。

都市建設部長 今後、利用

Q 集出荷場の道路整備を

A 段階的に実施したい

藤生 英喜 議員



問 新田みどり農業協同組合の笠懸集出荷場だが、大型車を含め多くの車両が出

状況を加味して、みどり市産の木材などを利用する中で木製ベンチの設置や位置などを検討していきたい。

問 はねたき広場に隣接する資材置き場の用地取得に向けて、その後の進展は。

都市建設部長 現在、都市再生整備計画などの補助事業の採択を目指している。整備内容は今後の検討になるが、事業採択に向けて群馬県と協議を進めている。

入りするにもかかわらず、道路の整備が遅れ、危険である。産業政策としても道路整備を急ぐべきと思うが。

都市建設部長 これまで計画もなく整備が遅れていたが、8月に組合長、集出荷場運営委員会長からの陳情も出されている。多くの車両が出入りしている実情を考えると、実施に向けて段階的に取り組みたい。

問 鹿交差点の改良が大変喜ばれているが、歩道部分は未完成状態だが。

都市建設部長 用地買収が進まず、暫定的な併用開始で、今後も完成をめざし群馬県桐生土木事務所と協議を進めたい。

問 笠懸グラウンドゴルフ場は連日多くの人が集まり競技を楽しんでいる。大会も頻繁に行われ400人を



※堀上遺跡… 桐生みどり消防署の建設に伴い発掘調査された縄文時代中期(4,000年前)のムラ。草創期(12,000年前)の石槍も出土した。



新井 みゆき 議員

Q 条例などの制定を A 準備をしていきたい

超える時もある。高齢者の仲間づくり、健康づくり、生きがいづくりに喜ばしいことだが、日陰も少なく炎天下、道路の縁石に腰を掛ける姿も見られる。熱中症や事故の危険もある。日陰のある休憩所の増設が必要だと思うが。

教育部長 休憩所はこれまでも一棟から三棟に増設してきたが、大会などの際には足りない状態。来年度早めに増設できるよう努力したい。

市長 グラウンドの一部が駐車場と兼用のため雨天など



環境を図り、その情報発信をめざしたい。

問 空き家の庭木や雑草が放置されているケースを見かけるが、苦情件数とその内容は。

市民部長 平成25年度の苦情件数は33件。内訳は樹木の繁茂8件、雑草繁茂が25件である。

問 苦情に対してどう対応

しているか。

市民部長 現地の状況を確認し、地権者が近くにいる場合は職員が訪問し、対応をお願いしている。訪問が困難な場合は、対応をお願いする文章を通知している。その後の追跡調査はできていないが、改善されない場

合は、反復してお願いをしている。

問 今後の対応は。

市民部長 人口減少社会といわれ、空き家が増える中で「助言・指導」から更に一歩踏み込むことができるような対策を考えなければならぬ。管理状況が悪いために、公共の不利益や市民に与える危険性の大きさにより、「勧告・命令」ができるような手段の構築を検討していきたいと考えている。

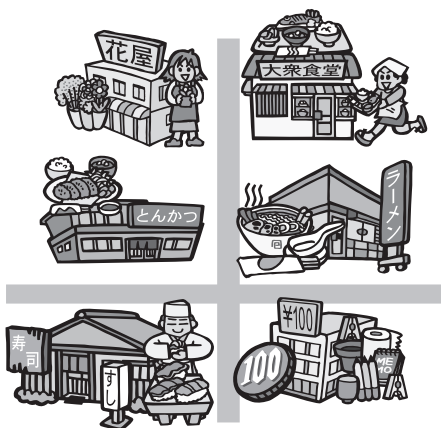
問 市民の安全安心のために条例などの制定は。

市民部長 管理されない空き家は庭木や雑草の繁茂、害虫の発生により建物そのものが老朽化していく。空き家対策の必要性から、条例などの準備をしていきたいと考えている。

問 大間々町の商店街活性化のため

の考えは。

市長 活気があり、集客力のある商店街がつかれるとい



Q 地域の排水を担う用水路の活用は

A 可能性について検討する

武井 俊一 議員



平成25年度に実施した詳細設計で、雨水幹線が直接流入から、岡登用水路横での越流方式へ変更。調節池の構造が、盛土から掘り込みに計画を変更した。

問 関連して、みどり市の事業計画修正は。

問 笠懸町阿左美地区での、石田川流域調節池整備関連事業の進捗状況は。

都市建設部長 県の計画変更を受け、これに対応した方式に変更していく。内容については、現在調査設計を行っている。

問 主要地方道桐生伊勢崎線阿左美バイパスの第2期事業で、雨水排水対策はどのような計画か。

都市建設部長 事業概要は、C1調節池の容量4万2300t。期間は、平成12年度から平成28年度末を予定。事業費は、全体で約15億円。用地取得は平成25年度末で完了。埋蔵文化財の調査も、9月で完了。10月から分割工事として発注すると県から聞いている。これにあわせ、みどり市も、現在流域調査事業を実施している。

問 C1調節池事業実施計画の修正などは。

都市建設部長 群馬県が、

副市長 管渠整備は、公共下水道の雨水管渠事業で進めたい。事業認可を受ける中で利用の可能性について検討する。群馬県とも協議調整し、費用が低減できるような方策で進めたい。

問 超高齢化社会では、健康寿命を延ばすかが課題となる。そのため、スポーツ振興、施設管理の専任組織の設置が必要と考えるが。

教育長 教育部内の組織の在り方を総合的に検討する必要があると考える。スポーツ推進計画にあわせ研究していきたい。



の課題として検討していく。

Q 低い市町村に合わせてもらえるか

A スケールメリットを生かす

田部井 多市 議員



統合になれば低い市町村に合わせてもらえるか。

都市建設部長 加入金だが、できるだけスケールメリットを生かす中で、調整していきたい。

問 水道管の設置のあり方について、本管の設置数は22年データでは、1555基でかなり普及しているが、水道管を設置するのに約100万円から約200万

問 新規の水道加入金が高の市町村と比べて割高になっているが、水道事業が

円かかる地域がある。今後、本管の新設はどのように考えているか。

都市建設部長 石綿管の更新をはじめ、経年劣化した管の施設整備が優先事業ととらえており、新設本管の整備については現状では検討はしていない。

問 一般県道小平塩原線寅久保バイパスは、地権者との話し合いがついたと聞い

問 世界で有数の長寿国である日本は、がん死亡率の高い国といわれている。がんは昭和60年頃から死亡原



伊藤 正雄 議員

因の第一位であり、現在群馬県では年間約5000人以上の方が、がんで亡っている。みどり市のがん死亡者状況とがん対策は。

保健福祉部長 平成24年度の死亡者数503人に対して、がん死亡者数は137人で27%、種別では第一位肺がん・第二位胃がん・第三位大腸がんとなっている。取組状況としては、肺がん・胃がん・大腸がん・子宮がん・乳がん・前立腺がんについて、医師会と連携して検診率向上を進めており、ポイント制を導入してグッツの交換を行っている。

問 胃がんの原因といわれる、ピロリ菌対策と補助金など市の取り組みは。

市長 平成25年2月から慢性胃炎の方も保険の適用になっている。群馬県はがん特区に指定となっており、群馬大学では「重粒子線治療」も行っている。がん検診のポイント制や受診率向

Q 胃がん原因のピロリ菌対策は A 受診率向上で市民の健康を高めたい

ているが、事業の着工はいつ頃になるか。

建設部長 平成25年度下期に入り地権者の理解がえられた。

問 この件については市長の3期目の任期中に是非、目途をつけてもらいたい。

市長 任期中にきちんとしたい。期待していただきたい。



上で市民の健康を高めたい。

問 「日本創成会議」は、2040年には、地方の人口が減り、523の自治体が消滅すると、いわれている。群馬県・みどり市の将来推計については。

総務部長 群馬県は平成22年201万人。平成42年には160万人で41万人減、みどり市は5万2000人から4万1000人になると思われ、1万1000人減、近隣の市でも40%減になるといわれている。

問 少子高齢化が進むと、このままでは、地域の崩壊にもなる。将来計画を県と

も連携して進めるべきだ。勢いあるみどり市に見えるが、大型店の撤退の動きが見える中での市の取り組みは。

市長 大型店は全国展開で計画している。商工会・法人会などとも情報交換しながら、みどり市民の雇用を確保するためできるだけのことをしていきたい。

次回定例会(予定)

11月27日(木)から

午前9:30～

皆さんの傍聴をお待ちしています。

問い合わせ ☎ 76-1970

Q 岩宿駅東の踏切と道路の現状は

A 拡幅改良の計画路線になっている

杉山 英行 議員



問 拡幅の考えと、J Rとの協議の考えは。

都市建設部長 踏切改良は今年度に入り保線区の担当者との協議に入っている。

問 協議内容は。

都市建設部長 具体的な協議に至っていないが、J Rの意向は出されている。

立体交差、安全設備の高度なものに改良の意向である。

問 総合計画に入れて整備計画を早くすることは。

都市建設部長 県道、岩宿駅前の整備計画と併せて進めるが、現況調査を進めてから取り組む。

問 J Rとの協議の中で、

他の踏切の廃止は出たのか。

都市建設部長 事前協議の中で設備が整備されていない踏切は検討したい意向。

問 総合計画に早く入れることは。

都市建設部長 県と整合性を図って、早い段階で5カ年事業に入っている。

問 必要な整備路線であるが、交通量調査の考えは。

都市建設部長 この路線も含めて岩宿駅前周辺道路の全体を調査をする。

問 ^{ひので} 泉小学校の現状と管理は。

総務部長 明治22年に開校し、平成13年に廃校となっている。嘱託職員で管理している。

問 活用計画は。

総務部長 計画となる活用方法はない。活用希望があれば前向きに検討する。

問 解体撤去の考えは。

総務部長 地元の活用を声を期待しているが、更地にして有効活用の時期に入つたと考えている。

問 跡地利用の考えは。

教育部長 教育委員会です今後の利活用をスポーツ推進計画の中で検討して提案をしたい。



Q 1人1日あたりのゴミの排出量は

A 平成24年度1073g

上岡 克己 議員



問 市における1人1日あたりのゴミ排出量は。

市民部長 みどり市では、

1人1日あたりでのゴミ排出量の数値と県内順位は、

平成21年度は、1133g、

平成22年度は、1135g、

平成23年度は、1114g、

平成24年度は、1073g

だ。県内35市町村の中でみ

どり市の順位は、平成21年

度、27位、平成22年度、27

位、平成23年度、25位、平

成24年度、23位である。

問 リサイクル率はどうか。

市民部長 県内の順位につ

いては、平成21年度、9・

5%、平成22年度、9・5%、

平成23年度、9・4%、平

成24年度、9・4%、平

成21年度、30位、平成22年

度、28位、平成23年度、29

位、平成24年度、28位とい

う経過。1人1日あたりで

のゴミ排出量は、非常に穏

やかではあるが、削減傾向

だ。これは、県内の平均値



高草木 良江 議員

Q 家庭用木質ボイラーなどの購入補助は A まきストーブの導入移行など支援策を考えたい

問 このほど「木質バイオマス実証事業」に取り組むが、どのようにしていくのか。

産業観光部長 新田みどり 農業協同組合と連携して選定し、農業ハウス用の木質ペレットボイラーを使つて検証する。

問 今後、家庭用木質ペレットボイラーやストーブの購入補助などは。

副市長 地域内のエネルギーや、経済の循環を促進する意味で、中長期的な地域活性化の、観点から取り組んでいきたい。家庭における木質ペレットの利用拡大

が、平成21年度、1096g、平成22年度、1078g、平成23年度、1076g、平成24年度、1059gとわずかずつ削減しているのと同様に推移している。

問 県民1人1日あたりの排出量は、1059gと全国ワースト3位となっている。群馬県は「資源の再利用を進めよう」と市町村と連携し、2015年までに、県民1人1日あたりの排出量を1000g以下、また、リサイクル率を22%以上を目標に上げているが、どのように考えているか。

市民部長 生ゴミの減量と雑紙や古着の再資源化に向けて、一層の啓発や回収努力を進めたい。

問 ゴミ減量意識の普及及び啓発にどう取り組んでいくのか。

市民部長 ゴミ減量を推進する目的で、ゴミ減量リサイクル協力店認定制度を今年度から取り入れ、「生ゴミ減量化対策補助事業」「資源ゴミ集団回収奨励金交付制度」も実施していく。

問 市長の考えは。

市長 ゴミ減量については、十分な成果とはいえない状況



況を認識し、施策と併せて引き続き、ゴミ減量化の意識啓発が高まる啓発の方法を工夫しながら、意識の普及を図っていく。

も、この実証事業の成果、あるいは市民のペレットやまきストーブの導入移行や可能性などを見極めながら支援策を考えていきたい。

問 市の北部ではイノシシやシカ、サルなどによる有害鳥獣被害が深刻で、早急に整備するべきである。「ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業」や「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」などを活用して、竹やぶの整備支援や下草刈りに取り組むべきと考えるが。

産業観光部長 まず市内の竹林の状況などを把握し、指摘の補助事業の活用も視野に入れて支援事業を具体的に検討したい。

問 子育て世代から多くの不満が出ている公園について、情報不足もあるので、マップなどを作成して配布としては。

都市建設部長 効果的な発信方法などを関係課と検討していきたい。

問 「公園に遊具が見当たらない」という意見がある。高齢者の健康遊具やベンチに座りながらも健康に良い



物がある。是非研究して、かどや公園や今後、計画している公園やグラウンドゴルフ場に設置を。

都市建設部長 長寿社会の中で、子どもからお年寄りまで楽しめて、遊具を通して交流も生まれると期待できる。今後取り入れていきたい。

問 桐生市は「子育て応援サポーター事業」を実施しているが。

保健福祉部長 桐生市は平成23年度事業で、配布用のオリジナルバッチを作成した。子育て支援や児童虐待の防止から、みどり市も前向きに検討していきたい。

Q さまざまな観光資源を有しているが A 人を引きつけることが肝要だ

須永 信雄 議員



問 平成25年度に「みどり市観光振興計画」が策定されている。本市は豊かな自然と歴史、文化が多く残る地域とさまざまな観光資源を有している。市長の考えは。

市長 観光資源の定義は人を引きつけるものと考ええる。自然や文化、施設、さまざまなものがあると思うが、人を引きつけることが肝要だ。当然、観光という仕掛けをしていく。

問 鳴神山系のカッコウソウは、環境省で絶滅危惧種最高ランクⅠAの指定を受け「種の保存法」指定の稀

少な種だ。観光振興計画の市指定の天然記念物にカッコウソウを加えられないか。

教育部長 盗掘などを考え、申請を受けた上で、文化財保護活動審議会にはかり、どのように保護するかという点から対応したい。

問 ボランティアの方が繁殖させたカッコウソウも600坪ほどに広がっている。これを地域の方が観光資源としている。地域の活性化にもつながると思うがその考えは。

産業観光部長 大間々町の小平地区の方が中心となつて保存活動をしている。各種団体に県と桐生市、みどり市も加わり、カッコウソウ協議会に参加し、活動したいと考えている。充分な保護をし、観光資源としていく。

問 みどり市笠懸町は、河川のない扇状地だ。50ミリ毎時の豪雨で冠水する地域

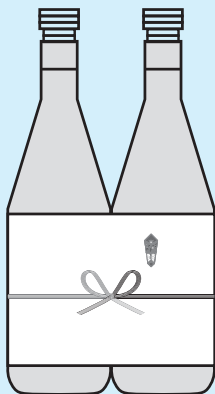


がある。県を交えて隣接市との間で、協議会を設け境界上の道路や接続する道路、河川の利用などについて雨水排水対策の協議をしてはどうか。

市長 想像を絶するような豪雨は、想定外でなく、いつ、どこでもおこりうると認識している。石田川流域の調節池事業、国営付帯県営事業など連携して雨水対策をしている。この対象地域以外にも市の事業を進めるが、県や隣接市にも要望していきたい。

寄付行為の禁止

選挙の有無にかかわらず、議員が選挙区内の人に寄附を行うことは、名義のいかんを問わず特定の場合を除いて一切禁止されています。



有権者が求めてもいけません。ご理解をお願いします。

禁止されている寄附(例)

- ×病気見舞い
- ×祭への寄附差し入れ
- ×地域の運動会やスポーツ大会への飲食物差し入れ
- ×結婚祝、香典
(政治家本人が結婚披露宴、葬式等に自ら出席してその場で行う場合は罰則が適用されない場合があります。)
- ×葬式の花輪、供花
- ×落成式、開店祝
- ×町内会の集会や旅行等の催物への寸志や飲食物の差し入れ
- ×入学祝、卒業祝
- ×お中元、お歳暮など

傍聴をお待ちしています



みどり市役所 大間々庁舎

議会では、市のさまざまな計画や、市民の生活に直面したことなどが議論されています。

本会議は、どなたでもご覧いただけますのでぜひ傍聴にお越しください。

また、ご意見ご要望もお寄せください。

みどり市議会事務局 ☎ 76-1970

みどり市大間々町大間々 1511 番地
ホームページアドレス

<http://www.city.midori.gunma.jp/gikai>



笠懸町

小林 昌郎

普段使える公園

みどり市で子育てを始め
て7年になります。笠懸幼
稚園には、3歳児から入園
できました。小学校では、
自校方式で、作りたての給
食が提供されたりと、比較
的に子どもを育てやすい環境
にあると感じています。

子どもたちを連れて、岩
宿遺跡の隣にある鹿の川沼
の畔にある公園に遊びに行
きます。幼児向けの遊具が
揃っています。大きすぎず、
小さすぎず、子どもがどこ
にいるのか、目の届く広さ
でとても使いやすい公園で
す。

他の地域では、よく目に
する公園ですが、みどり市
にもこのような公園が増え
るとありがたいです。



東町

小森谷 玲子

PTA会長になって 思うこと

会長になって半年、会議
行事で忙しいですが、人と
人との繋がりが増え、貴重
な一年になりそうです。

あずま小は児童54名、こ
の10年位で半数になり、み
どり市では最小規模となり
ました。児童が少ない分、
一人一人が主役、活躍する
場が多く、授業も少人数と
恵まれた環境です。児童数
は、これからも減ると考え
られるので、大間々町や笠
懸町からの希望者が通える
制度ができたらいいいでは
ないかと思っています。

わたらせ渓谷鐵道の運行
時間など配慮も願いまし
ます。学生などが時間のムダ
なく帰宅ができればと思っ
ています。



大間々町

生方 友子

つな 繋がり

絵を描き、伝えたい気持
ちと相手を思う心があれば
温もりのある絵手紙が生ま
れます。季節を感じ、やさ
しい、楽しい絵に短いメッ
セージを添え勇気と幸せに
繋がる嬉しい手紙、それが
絵手紙だと思います。書き
始めて20年余りになりま
す。身近な草花などを書き
楽しんでいたところ、往来
センターにて教える機会を
あたえられ、書くきっかけ
を作ってあげられればと思
い4年程教え、後はサーク
ルにて楽しんでもらいまし
た。今は地域の寿会を中心
に「数多く書けば上手にな
れるよ」と励まし、一緒に
描き書き、楽しんでいます。
皆、素晴らしい、個性のあ
る絵手紙を描いています。

編集後記

長以下執行部は作業服の
まま昨日より持ち越され
た午後の審議を再開しま
した。

(大澤 映男)



編集委員

平成25年9月16日笠懸 町阿左美から大間々町原 にかけて甚大な被害をお よぼした竜巻、そして平 成26年9月16日みどり市 に震度5弱の地震が発生 しました。その日は終日、 決算特別予算委員会が行 われる予定でしたが12時 28分の地震により予定を 変更し、執行部は被害状 況確認のため、それぞれ の関係部署へ直行し市内 全域の被害状況を確認し ました。震度5弱を記録 した大間々町では民家の 屋根のぐし、ブロック塀 などが崩落し、多くの公 共施設では窓ガラスが割 れたり、天井や壁に被害 が確認された。震度4弱 の笠懸町では阿左美地区 の民家でも同様に被害が 確認され、また東町では 幸運にも被害はありません でした。	委員 長	武井 俊一
	副委員 長	須永 信雄
	委 員	常見 詔子
		椎名 祐司
		宮崎 武
平成26年9月17日、市		大澤 映男
		今泉 健司